



く ん せ ん 泉 薫

学校の目標
社会の変化に自ら対応でき、豊かな心をもち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。
・よく考え、進んで学習する子ども
・いつも元気で、しようぶな子ども
・こころ豊かで、やさしい子ども

やればできる

校長 井上 光広

子どもたちの中でよく話題にあがることについて、私自身、知らない場合は必ず調べるようにしています。そのひとつに「やればできる」という言葉があります。これは愛媛県の済美高校野球部出身のコメディアンの方がよく、ゆつくりとした口調で「やればできる」と言っているようです。済美高校では、野球部が甲子園大会優勝した後、校訓になったらしく、校歌にも「やればできるは魔法の合い言葉」という歌詞があるほどです。

コロナ禍ではありますが、十月、十一月と本校では、思いきった校外行事を続けてきました。運動会を全校児童で一斉開催。一・六年生交流で多摩川台公園へ電車で校外学習。二年生も電車でカワスイへ。三年生は地元工場INB様のご協力を得て見学が実現、さらにはバスで区内巡り。四年生は中央防波堤ゴミ処分場へのバス見学。さらに、密を避けるために五・六年生が学校を出てから戻るまでの全てを、子どもだけの少人数班で行った鎌倉実地学習。どの取組も保護者の皆様のご理解がなければできませんでした。また教員にも、準備と安全対策に通常以上の気苦労をしてもらったことで実現できました。矢口小学校関係者全員で、「やればできる」と確認したいです。

受け止める力を高めるために

このような中、本校の今年度の重点教育に、次のことをお示ししております。

◎コミュニケーション能力の向上

① 校内研究と連動して、受け止める側の聞き取る力や情報解釈力などを育成する。

② 自分の考えや思いを、他者に分かりやすく積極的に表現する力を育成する。

③ 教員や保護者といった児童を取り巻く大人側の「児童の思いを受け止める」周辺環境を整える。

この中の③につきまして、今年度の残り四か月間、保護者の皆様にはぜひとも学校と歩調を合わせてご協力いただければと願っております。

元々、矢口地域は、街をあげて子どもたちを育てるという意識に満ちあふれています。十月十九日に開きました地域教育連絡協議会でも、地域の代表である委員の皆様から、「今年は子どもたちが楽しめる地域行事がすべて中止になった。あまりにも子どもたちがかわいそうだ。」という思いや意見を感じました。

③について具体的な例を示しますと、一年生では、子どもたちが学校で選んだ本を家に持ち帰り、ご家族のどなたでもよみ聞かせていただく「このほん よんで！」という取組を行っています。また、今年度は高学年で定期的に俳句の「句会」をしておりますが、五年生では俳句作りをする際に、子どもたちがご家族に相談した結果、見違えるほどの言語能力向上を見せております。各学年担任から、何らかの協力依頼があった際は、ぜひご家庭で、お子様と共有する時間を作っていただくだけでも、「児童の思いを受け止める」ことになります。

自分の大切な親に受け止めてもらうことで、子どもたちは言葉を超える内面の豊かさを、自ら育みます。そして、学校で友達のよさをたくさん見つけられるようになり、これまで以上に、お隣の子のこを受け止めていく力の高い、見事な小学生になっていくことでしよう。もちろん私たち教職員も、子どもたちを受け止める力を高めてまいります。

子どもたちの体力向上

体育部

今年度から「矢口ギネスに挑戦しよう」という新しい取り組みを始めました。各種目の記録を競い、学年・学校内で順位を決めます。様々な運動の記録向上を目指す活動を通して、自発的に運動に取り組む意欲を高め、体力の向上を図ります。

種目は以下の三つです。

- ① フラフープ二本回し
 - ② 二人組キャッチボール
 - ③ 連続逆上がり
- (三十秒間で何回キャッチボールできるか)
(三十秒間で逆上がりをした回数を競う)
意欲的に種目にチャレンジする子がたくさん出ています。

十二月の生活目標

生活指導部

きれいな教室にしよう

今年も残りわずかになりました。新年を気持ちよく迎えられるように「身の回りの環境を整えること」を呼びかけます。

道具箱の中の整理や使わなくなった学習用具の持ち帰り、清掃活動にも力を入れて、年末には大掃除を行います。整った環境で学習する心地良さを理解し、次に使う友だちへの心遣いを大切にできる児童を増やしていきます。

ご家庭でも、整理整頓を呼びかけ、新年からの学習準備を整えるよう、声掛けをお願いします。

また、冬休みの生活については、「よいこの冬休み」を配布いたします。お子さんとよく話し合い、約束を決めて、安全で事故のない楽しい年末・年始をお過ごしください。